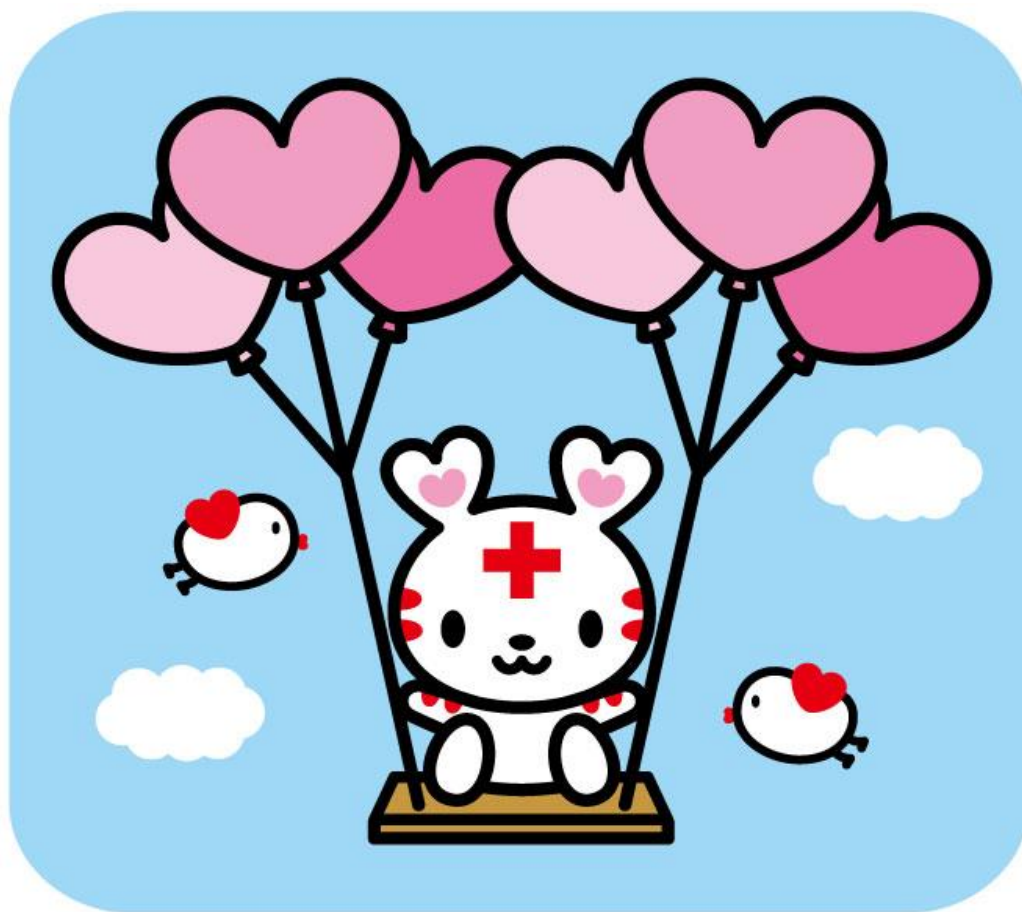


高知県「青少年赤十字」のご案内

【令和３年度版】

「思いやりの心」を育む教育活動に
青少年赤十字をご活用ください



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高知県支部

【本件に関する問合せ先】

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番45号 総合あんしんセンター1階

日本赤十字社高知県支部 事業推進課 青少年赤十字担当

TEL : 088-872-6295

FAX : 088-872-6299

Ema i l : jigyo@kochi.jrc.or.jp



青少年赤十字（Junior Red Cross＝J R C）とは？

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びとの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。



青少年赤十字の3つの「実践目標」

「健康・安全」～いのちと健康を大切にする～

人間の生命はもっとも大事なものです。その生命を守るために、自分の命と健康を大切にするとともに、みんなの健康を守り、人間尊重の精神を養うことを目指します。

「奉仕」

～人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する～

私たちはたった一人で生きているのではなく、社会の一員として生きています。自分が今、他者のために何が出来るかを考え、できることから実行していきます。

「国際理解・親善」

～広く世界の青少年を知り、なかよくたすけあう精神を養う～

私たちは、いつも世界の国々とのつながりの中で生活しています。外国の人々やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることは大変重要なことです。それは自分自身を知ることにもつながります。このような積み重ねが、世界の平和の実現を目指していくことにつながります。

また、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。



青少年赤十字の活動には、「義務」はありません

青少年赤十字の活動は、地域や世界の人びとの平和や福祉に貢献するような活動を、学校の裁量で自由に行なうことができます。したがって、「これをしなければならぬ」といった義務のようなものはありません。



青少年赤十字についてもっと詳しく！！

日本赤十字社本社のHPにて青少年赤十字の活動等をご覧いただけます。

【本社HP】 <http://www.jrc.or.jp/activity/youth/about/> または、

日赤 青少年赤十字

検索

でご検索ください！





青少年赤十字への加盟について

青少年赤十字活動に加盟するということは、その学校が学校教育の一つとして青少年赤十字の活動を取り入れるということになります。

そのため、学校長の承認が必要となり、さらに、児童、生徒（メンバー）の意思を尊重するために、加盟登録の手続きをお願いしています。

加盟登録は、クラブ単位、クラス単位、学年単位、そして学校単位など、学校様に併せた単位で行っていただけます。



青少年赤十字に加盟するとこんなことができます

①赤十字のネットワークを活用した幅広い活動

赤十字施設、赤十字奉仕団と連携した活動の展開
や海外の青少年赤十字メンバーとの交流など

④青少年赤十字や赤十字に関する 資料・教材の活用

定期刊行物・ポスターの送付、講師派遣など

②指導者やメンバー対象の各種講習会の実施

「青少年赤十字出前講座」をご活用いただけます。
P.3-4をご覧ください。

③青少年赤十字の手法を活用した 学級運営、学校運営

ノーチャイム、ボランティア・サービス活動、
掲示板による注意深い生活など…

「トレセン（P.10）」に参加してこれらを体験



加盟のお手続きについて



学校（園）

①青少年赤十字に
加盟したい旨を連絡

②登録申込票を送付

③必要事項を記入し、返送
（登録完了）



登録申込票は、日赤高知県支部のHPからもダウンロードいただけます。

日赤高知県支部 青少年赤十字

検索

なお、加盟登録には経費や義務は一切伴いません。



青少年赤十字加盟校で活用いただける「出前講座」一覧

※「出前講座」は原則として、土・日・祝日はご活用いただくことはできません。

※【体験】メニューについては、年度内に1回まで無料でご活用いただけます。

※【体験】と【学習】を組み合わせた講座のご活用も可能です。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、講座内容を一部制限させていただいております。

詳しくはお電話にてお問い合わせください。

【体験】メニュー

	名 称	時間（目安）	内 容
1.	心肺蘇生とAEDの使い方	60～90分	心肺停止の場合の一次救命処置とAEDの使用法
2.	救急法（応急手当）	60～90分	災害時にも応用できる、急病やケガに対する応急手当
3.	水上安全法（着衣泳）	60～90分	服のまま水に入ったときなど、水の事故から命を守る方法
4.	健康生活支援	60～90分	高齢者への支援のポイントやリラクゼーションについて
5.	幼児安全法	60～90分	乳幼児に起こりやすい事故や病気に対応する方法
6.	雪上安全法	60～90分	雪上で起こりやすい事故の事例や対処法

【学習】メニュー

	名 称	時間（目安）	内 容
1.	赤十字について	30分～60分	赤十字の成り立ちや現在の活動について
2.	平和学習	45分～60分	世界で生きる子どもたちの生活や「地雷の恐ろしさ」「少年兵」について
3.	防災学習	45分～60分	過去の災害に対する赤十字の活動や、南海トラフ地震など災害への備えのほか、避難所での生活やボランティア活動について
4.	新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！（P.5参照）	45分～60分	新型コロナウイルスがもつ3つの顔（病気、不安、差別）を正しく理解し、負のスパイラルを断ち切るために自分たちができることについて学ぶ
5.	まもるいのちひろめるぼうさい（P.6参照）※小・中・高校生向け	45分～60分	日本赤十字社本社が開発した教材を用いて、防災についてのグループワークなどを行います。
6.	ぼうさいまちがいさがしきけん はっけん！（P.6参照）※幼稚園・保育所向け	45分～60分	日本赤十字社本社が開発した教材を用いて、防災についてのグループワークなどを行います。
7.	避難所運営ゲーム（HUG）	120分～150分	静岡県で開発されたゲームで、避難所で起こる様々な出来事への対応について、ゲーム感覚で学ぶことができます。
8.	青少年赤十字登録式（P.7参照）	10分～15分	朝礼や全校集会の時間を利用して、赤十字の簡単な講演やワッペンの授与を行うことで、青少年赤十字の一員としての意識が高まります。
9.	献血出前講座（セミナー）	高知県赤十字血液センターの職員がお伺いします。 詳しくは担当までお問合せください。	
10.	気象庁ワークショップ	高知地方気象台の大雨災害ワークショップです。 詳しくは担当までお問合せください。	



「出前講座」活用の流れ

1. 「出前講座」を選ぶ

P.3のメニュー一覧から、活用したい「出前講座」を選びます。

メニュー内容について詳しく知りたい場合や、日程についてのご相談は日本赤十字社高知県支部 事業推進課（０８８－８７２－６２９５）まで電話でお問合せください。



2. 「出前講座」を申し込む（申込様式は日赤高知県支部HPからもダウンロードできます）

「出前講座申込書」に必要事項をご記入の上、日本赤十字社高知県支部 事業推進課あてにFAX（０８８－８７２－６２９９）でお申込ください。

※出前講座のお申込み前に、「青少年赤十字登録申込票」（P.2参照）をご提出ください。

（青少年赤十字登録申込を行わずに出前講座を実施する場合、講師１名につき
3,000円の講師派遣費用が発生します。）



3. 日程・講師の調整

日本赤十字社高知県支部で、講習希望の日程と講師を調整して、ご連絡します。

ご希望の日程でお受けできない場合もありますので、ご了承ください。

日程・講師が決まればFAXで「講師派遣依頼文」様式をお送りします。



4. 「講師派遣依頼文」の提出

「講師派遣依頼文」に必要事項をご記入の上、日本赤十字社高知県支部 事業推進課あてにFAX（０８８－８７２－６２９９）にてご提出ください。



5. 打ち合わせ

講師にご連絡いただき、当日の内容や準備物等の打合せをお願いいたします。



6. 「出前講座」実施

当日、講師がお伺いして「出前講座」を行います。



「出前講座」は児童・生徒の皆さんのみならず、
教職員や保護者の皆さまを対象として
実施することももちろん可能です！
ご不明な点はお問い合わせください。



「新型コロナウイルス感染症の3つの顔を知ろう！」について

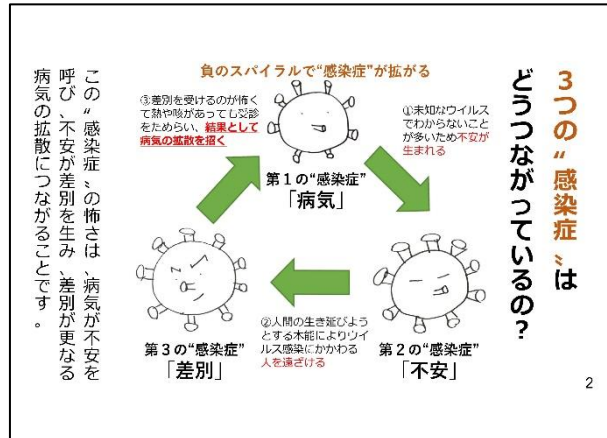
青少年赤十字向け教材

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」が作成されました

新型コロナウイルス感染症は、世界中で感染の拡大が続いている状況です。

この感染症は、「病気」「不安」「差別」の“3つの顔”を持っており、これらが“負のスパイラル”としてつながることで、更なる感染の拡大につながっています。

日本赤十字社が作成したガイドは、新型コロナウイルスについて正しく理解し、“負のスパイラル”を断ち切るための教材として、全国の学校等で活用されています。



日本赤十字社高知県支部および県内加盟校における取り組み

日本赤十字社高知県支部では、上記教材を含めた新型コロナウイルス感染症にかかる関連教材について、県内加盟校・高知県教育委員会・高知市教育委員会へメールにてご案内させていただいております。

また、高知県教育委員会が作成した「令和2年度人権教育・生徒指導校内研修資料集」に「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」が掲載され、県立中高、特別支援学校及び市町村教育委員会をつうじて県内すべての公立小中学校など計388カ所へ配布されています。



(活用事例)教材を分かりやすく着色していただき、校内の掲示板に掲示をしていただきました(土佐中学校・高等学校)

支部職員による出前講座も実施しています

日本赤十字社高知県支部では、依頼をいただいた学校・団体等に職員を派遣し、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」の講座を実施しています。

ご不明な点がございましたら、高知県支部事業推進課までお問い合わせください。

【令和2年度開催実績】

- 令和2年8月27日 高知市立義務教育学校土佐山学舎 中学生38名・教員2名
- 令和2年9月9日 津野町立中央小学校 小学生83名・教員17名・保護者等10名
- 令和2年10月2日 高知県立安芸中学高等学校 中学生168名・高校生252名・教員55名
- 令和2年10月3日 NPO法人日本防災士会高知 一般5名
- 令和3年1月22日 安芸市立赤野小学校 小学生26名・教員7名・保護者等19名



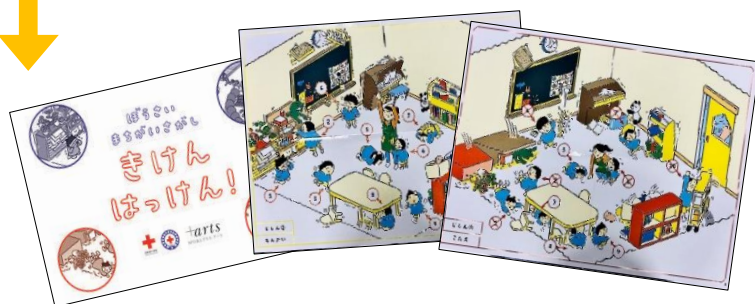
青少年赤十字の「防災教育」 使ってみませんか？



未来を担う子どもたちに、自然災害に対しての正しい知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとれるようになってほしい。

日赤の防災教育は、子どもたちが主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができるだけでなく、他者への思いやりや優しさ、いのちの大切さを学び取る力を育むことができます。

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！（幼稚園・保育所向け）



今まで園児は“先生から守られる”存在でしたが、この教材では、自ら判断し、「自分の命は自分で守る」ことが出来るようになることが期待されます。地震や津波、風水害等、6つのテーマで、モノと行動の両面から子供たち自身が、身の周りにある危険を発見します。

特徴
1

楽しみながら
防災を学べる

特徴
2

災害時の行動による
結果まで分かる

特徴
3

テーマ別なので
学びたい部分だけ実施可能

まもるいのち ひろめるぼうさい（小・中・高校生向け）

自然災害に向き合ってきた日本赤十字社と現場の教員が提案する
“授業ですぐ使える防災教材”をこの一冊に

- DVDとワークシートにより、「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る方法」を災害別に学ぶことができます。
- 児童・生徒の皆さんが主体的に取り組めるような「気づき、考え、実行する」を重視したグループワークプログラムが入っています。
- 被災された子どもたちのインタビューや、ボランティアの姿から「思いやり、優しさ、いのちの大切さ」を養い、未来につなぐいのちを学ぶことができます。

学べる自然災害

・地震災害 ・津波災害 ・風水害（台風、豪雨、雷、竜巻） ・雪害 ・火山災害



上記の防災教材は、日赤のホームページからもダウンロードできるほか、ご希望があればお渡しすることも可能です。

青少年赤十字 防災教育

検索

また、皆さまの学校で出前講座（P. 3 参照）として防災教育を実施することもできます！



「青少年赤十字加盟登録式」 について



青少年赤十字のメンバーとなっていたいただいた児童・生徒のみなさんに
「赤十字」・「青少年赤十字」について理解を深めていただき、
青少年赤十字のメンバーとしての自覚・意識を持っていただくために、
青少年赤十字加盟登録式を開催しています。

加盟登録式で行っていること

- 日本赤十字社高知県支部職員による「赤十字」「青少年赤十字」
についての講話（５～１０分程度）
- 青少年赤十字ワッペン（P.11参照）の贈呈（代表児童・生徒の方へ）
- 地域赤十字奉仕団（※）の方のご紹介、ご挨拶

※地域赤十字奉仕団は、市町村を基盤にして日常生活の中で地域に根ざした赤十字活動を展開している方々です。

全体の所用時間は１０～１５分となっており、朝の全校集会時や午後の集会時など、
各加盟校様に合わせた時間帯での開催が可能です。

加盟登録式までの流れについて

- ①「青少年赤十字登録申込票」に必要事項をご記入・ご押印いただき、郵送にて
ご提出をお願いいたします。
- ②「青少年赤十字出前講座申込書」に希望日時・参加人数・ご担当者氏名等の
必要事項をご記入いただき、FAXにてお申込みください。
- ③いただいたFAXをもとに、日赤高知県支部担当者より、加盟登録式の流れや
準備等につきまして打合せのご連絡をさせていただきます。
- ④当日の登録式の開催となります。

※①・②につきましては同時のタイミングでご提出いただいてもかまいませんが、
①は公印欄があるため郵送にて、②はFAXにてご提出をお願いいたします。



高知県における主な青少年赤十字活動



4月 赤十字運動月間啓発パレード

5月の赤十字運動月間を前に、
県内の赤十字関係者が一堂に会して
街を歩きながら赤十字をPR!



5月 高知県青少年赤十字 高校生連合会 総会

高等学校加盟校のメンバーが参加して、
役員選出や赤十字についての学習を行ったり、
自分たちの学校での取組みなどの発表などについて話し合います。



夏休み 青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター

2泊3日間の集団生活を通して、
周りの人たちのためにできることは何か、
自分から「気づき」、「考え」、「実行する」力を、
号令のない生活の中で、指導者の先生方やメンバーと
楽しみながら身につけることができます。
(国立室戸青少年自然の家 で開催)



12月 高知県青少年赤十字研究大会 ・海外たすけあい街頭募金

加盟校における日頃の取組みなどについて
メンバーや指導者の先生が自由な方法で発表し、
各学校の活動について理解を深めます。

また、赤十字奉仕団の方々と協力し、海外で苦し
んでいる人のため、街頭募金活動を行います。



次ページ行事予定につきましても 併せてご確認ください。



令和3年度 青少年赤十字関係行事 開催予定

	行 事 名	実施予定日			場 所
1	赤十字運動月間啓発パレード	4月24日	(土)	時間未定	帯屋町アーケード 高知市中央公園
2	高知県青少年赤十字賛助奉仕団総会	開催時期・開催形態調整中			
	高知県青少年赤十字指導者協議会				
3	高知県青少年赤十字高校生連合会総会	開催時期・開催形態調整中			
4	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5月22日 5月23日	(土) (日)	11：30～ ～15：00	本 社
5	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	6月29日	(火)	11：00～ 17：00	本 社
6	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7月17日 7月18日	(土) (日)	13：00～ ～12：00	本 社
7	高知県小中高等学校青少年赤十字 夏期リーダーシップ・トレーニング・センター	7月30日（金）～ 8月1日（日）			国立室戸 青少年自然の家
8	指導主事対象青少年赤十字研究会	9月30日	(木)	10：30～ 17：15	本 社
9	第5ブロック各県青少年赤十字指導者協議会長 並びに青少年赤十字事務担当者会議	10月21日 10月22日	(木) (金)	13：00～ ～12：00	高知共済会館 総合あんしんセンター （高知県開催）
10	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 連絡協議会・研修会	10月28日 10月29日	(木) (金)	13：00～ ～12：00	香川県
11	高知県青少年赤十字研究大会	12月5日（日） 予定		午前	調整中
12	海外たすけあい街頭募金			午後	帯屋町周辺
13	本社スタディーセンター	3月22日（火）～26日（土）			山中湖村 （山梨県）

※番号を色塗りしている行事は、本社または中国・四国ブロック主催のものになります。

※新型コロナウイルス感染症の状況により行事が開催中止となる可能性があります。



あなたのリーダーシップ、
JRCで育ててみませんか・・・？



青少年赤十字 リーダーシップ・ トレーニングセンター

赤十字の精神に基づき、学校の先生のご指導のもとで行われる
様々なプログラム（グループワーク・フィールドワーク等）を通して、
個々のリーダーシップを育みます！

開催期間

7月30日（金）～8月1日（日）2泊3日

開催場所

国立室戸青少年自然の家（室戸市）

対 象

小学4年生～高校3年生

参 加 費

小学生4,600円・中学生以上4,670円

もう少し詳しく内容を知りたい！参加してみたい！と思った方は、
日本赤十字社高知県支部 事業推進課（TEL：088-872-6295）
までお問い合わせください♪



児童・生徒の皆さまのみならず、先生方のご参加も大歓迎です！
詳しい開催案内は、6月中に加盟校あてに送付する予定です。





「青少年赤十字マーク」を身に付けて 活動してみませんか？

「青少年赤十字マーク」に込められた意味とは…



真ん中に赤十字マーク、そして、その下に青少年赤十字と書かれたリボンがあり、リボンの下と周りには桜の花が14個あります。

【赤十字マーク】は「赤十字の心（やさしさ・おもいやり）」のマークです。
【桜】は「人やなかま」を表し、【14個】という個数には「世界で14番目に青少年赤十字活動を開始した」意味が込められています。
さらに、桜を囲む【まわりの青】は「世界の空の色」を表しており、
【青少年赤十字のリボンの下の桜】は「わたくし」を意味しています。

わたしたちはたった一人きりではなく、青い空で世界中のみんなといつもつながっていて、仲良く助け合っていくことができる。そんな思いが込められた「青少年赤十字マーク」を学校生活のなかで身に付けてみませんか？



前



後ろ

【ビブスの貸出のご案内】

日本赤十字社高知県支部では、学校等において奉仕・清掃活動などを行う際に、青少年赤十字マークの入ったビブスの貸出を行っております。

ビブスは黄色で、フリーサイズが50着、ジュニア用のLサイズが10着あります。

軟質塩化ビニル製で
直径7cmの
ワッペンです！



【青少年赤十字ワッペンのご案内】

配布を希望する加盟校へ無料でお渡ししています。

青少年赤十字加盟登録式（P.7参照）を行っていただける場合は、式典の中でお渡しすることもできます。

なお、お渡し可能な個数につきましては、別途ご相談させていただきます。



安全ピンタイプです！

赤十字の父「アンリー・デュナン」



戦争で救護活動を行ったスイス人の実業家アンリー・デュナンが平時から国際的な救護団体をつくる必要があると感じ、赤十字が組織されました。今から150年ほど前の話です。

世界各地で救護団体として活動していた赤十字と、子どもたちの健やかで豊かな成長を願う学校の先生方との出会いの中で、「青少年赤十字」が生まれました。そして、誰の心の中にでもある本来の「やさしさ」、「思いやり」を引き出し、育てることが役割になりました。

